

政策推進課 小野主査の  
**ふるさとグローバルプロデューサー**  
 研修報告 Vol.2 2016.7 ⇒ 2017.3

IN **台湾**

【問い合わせ】  
 政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222



台北市内での梅酒試飲会で梅酒を味わう来店者と、説明する小野主査(右端)。「言葉が通じるか不安でしたが、意外と日本語を知っている方も多く、コミュニケーションをすることができました。」



↑試飲会で用意した13種類の梅酒。  
 ←現地の方は、真剣に飲み、好みについて議論していました。

この経験を糧にして、松田町に世界が注目するような町づくりの一端を担っていききたいと思えます。(小野)

台湾では、かつて日本の梅酒が販売されたおりに人気を博したようですが、その後、台湾国内で梅酒が販売され始めたため、関税などの影響で価格の高い、日本産の梅酒よりも台湾産の梅酒の売り上げが伸びたという歴史があるようです。そこで今回は、現地の方のご協力をいただき、日本産の梅酒の試飲会と、梅酒と料理の組み合わせを楽しむ会を開催することで、現地の方の好みや梅酒が受け入れられる下地があるかの調査を行うこととしました。

台湾市場での梅酒の販売状況を調査

1月14日(土) 台北市内 酒販店で梅酒の試飲会を実施

29人の来店者に13種類の梅酒を試飲していただき、アンケートで評価を聞き取りました。身振り手振りを交えながら梅酒の違いを英語で説明し、台湾でのお酒の飲み方など、現地のお酒事情をリサーチし、台湾での日本産梅酒の販売の可能性について考えました。

1月15日(日) 台北市内 梅酒と料理のマリアージュを楽しむ会

台北市内のレストランで、梅酒と料理のマリアージュ(組み

本紙(平成28年8・12月号)でお伝えしているとおり、政策推進課の小野敏紀主査は、職員としてのキャリアアップのために、「ふるさとグローバルプロデューサー」等育成支援事業(※)に参加しています。研修先の「一般社団法人 梅酒研究会(代表理事 明星智洋・東京都新宿区)」の一員として、台湾市場をリサーチするために、1月13日(金)から16日(月)まで台湾研修に参加しました。

※：中小企業庁の補助事業として、日本国内の地域産品を海外に売り込むプロデューサー育成を目指す事業

台湾の方々には勉強熱心な方が多いようで、食事をしながらでも、梅酒に関する質問などを多くの方が行い、知識を深めたり、疑問点を解決したりするなど、料理についても非常に楽しめたようでした。最後のアンケートでは「このような企画は何度でも行ってほしい」との意見をいただき、国産梅酒が販売できる土壌の可能性を感じました。

日本と外国では風土や慣習は異なりますが、試飲会や食事会に参加された現地の方とは、美味しいものは美味しい、良いものは良いという共通認識を持つことができました。つたない英語でも身振り手振りを交えて真剣に伝えようとすれば意志の疎通も図れ、松田町のような小さな町でも、良いものさえ発信できれば、世界は必ず目を向けてくれるという実感を得ることができました。

有害獣被害実態の調査報告

本紙(平成28年9・12月号)でお伝えしましたが、当町では本年度、国の地方創生推進交付金を活用し、シカ、イノシシなどの有害獣による農作物の被害・捕獲実態把握調査を行いました。生息状況調査のため、町内のけもの道付近の20箇所にセンサーカメラを設置し、12月には松田・寄両地区で捕獲担い手育成講習会を開催し、多くの方が参加されました。

また、足柄上地区猟友会松田支部及び寄支部の皆さんにご協力いただき、推進交付金を活用して、くくりわな100個と箱わな10基を購入し、くくりわなは11月28日より、箱わなは12月25日より設置を開始しました。それを用いて捕獲活動を行ったところ、シカ14頭イノシシ19頭を捕獲(昨年比シカ2頭イノシシ9頭増)することができました。(1月22日調査)

捕獲した有害獣の資源有効活用を目的としたジビエ事業の可能性調査についても現在調査中です。

【問い合わせ】観光経済課 商工農林係 ☎(83) 1228

マイスターになって おもてなし 第1回まつだマイスター 検定を実施!

2月19日(日)に実施した「第1回まつだマイスター検定」には、11人の方が挑戦されました。受検者の多くは町民の方でしたが、中には県外から参加された方もいました。

今回は、制限時間60分の中で「まちに関する問題」が15問、「イベントに関する問題」が10問、「まちの歴史に関する問題」が10問、「まちの歴史に関する問題」が10問、「筆記問題」が5問の計50問(1問2点の100点満点)が出題されました。

検定を終えた参加者の方は、「歴史の問題が難しかった」、「長年住んでいたが、いかに無関心だったか痛感した」、「次回もチャレンジしたい」などと感想を話していました。

マイスター検定の結果は、受検者の方に3月中旬までに通知でお知らせします。

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎(83) 1222

風 感謝をツナグ

松田町長 本山博幸

どこまでも澄み切った青空に雪化粧をした富士山が美しく映え、春の訪れを日増しに感じる今日このごろ、町民の皆様におかれましてはお元気で過ごしのことと存じます。

130年前の明治20年1月、旧松田村に足柄上郡警察署が創設されました。それから時を経た先月、松田警察署庁舎が45年ぶりに改築され、神奈川県をはじめとする1市5町の関係各位が集い、庁舎落成披露式と道場開きが盛大に開催されました。

私は上郡町村会長として、また松田町長として列席し、この歴史的瞬間に立ち会い、完成の喜びを共有致しました。

松田警察署の建替えにあたっては、他町へ移転する可能性もあったようですが、皆様は、物心ついた時には町内に警察署があることが当たり前だったと思えますが、もし移転していたらどうでしょう? 私は、松田警察署があるおかげで地域の治安維持が保たれてきたものであり、同じ場所での建替えにご尽力くださった皆様は、未来への重要な礎を築いてくださったものと確信しています。

町内での庁舎の存続は松田地区警察官友の会や地権者、地域住民、県議会議員など関係する皆様方の、想いと情熱が紡いだ功績であり、町民を代表して、改めて感謝申し上げる次第です。本当にありがとうございます。

松田警察署はこれからの歴史を刻み、いざれまた建替えの時期を迎えます。その時に向かつて我々は、想いと情熱に感謝し、次の世代に、ツナグ事が、使命と存じます。松田警察署が永久に、足柄地域の中心である松田町に存続し、地域の治安維持のために連携できるよう「オール松田」で取り組んでまいります。寒さもやっとなしゆるんできたようですが、くれぐれもご自愛ください。